

Cisco Wireless Control System の SQL インジェクション脆弱性

Critical アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20100811-wcs](#)
初公開日 : 2010-08-11 16:00 [2010-2826](#)
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [9.0](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Wireless Control System (WCS) は脆弱なデバイスに認証された攻撃者 フルアクセスを可能にする可能性があるシステム構成の修正を含む SQL インジェクション脆弱性が含まれていません; ユーザを作成し、修正し、削除して下さい; または WCS によって管理されるワイヤレスデバイスの設定を修正して下さい。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。

この脆弱性に対する回避策はありません。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20100811-wcs> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco WCS 実行するデバイス ソフトウェア 6.0.x はこの脆弱性から影響を受けます。

注: Cisco WCS ソフトウェア リリース 7.0 はこの脆弱性から影響を受けません。(最初の 7.0 バージョンである) Cisco WCS バージョン 7.0.164.0 既にこの脆弱性のための修正が含まれています。6.0 以前の Cisco WCS ソフトウェア リリースはこの脆弱性から影響を受けません。

特定のデバイスでインストールされる WCS ソフトウェアのバージョンは Cisco WCS HTTP

マネージメントインターフェイスによって見つけることができます。ソフトウェアバージョンを得るためにソフトウェアを Help > About の順に選択して下さい。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Ciscoワイヤレス LAN コントローラ (WLC) はこの脆弱性から影響を受けません。他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2010-August-11	初回公開リリース
--------------	----------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。